

- 第1回定例会
議案の概要と審議結果 …… 2面
- 区政のここを問う
定例会での代表・一般質問 …… 3~5面
- 予算特別委員会・各会派の意見 …… 6~7面
- 委員会の動き …… 8面
- 請願・陳情の審議結果 …… 8面

新宿区議会だより

発行：新宿区議会 ☎ 03(3209)1111(代表)
〒160-8484 新宿区歌舞伎町一丁目4番1号
ホームページアドレス <http://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/index08.html>



No. 306

令和5年(2023年)4月25日発行



1月29日
新宿シティハーフマラソン・区民健康マラソン
(国立競技場)



2月24日~3月9日・20日
予算特別委員会



3月
妙正寺川沿いの桜 (区立西落合公園付近)

トップニュース

令和5年度予算を可決

令和5年度予算総額2,451億4,820万2千円を可決

令和5年度予算案は、基本方針を「第二次実行計画の総仕上げとともに、区民生活の現場・現実を踏まえ、直面する区政課題の解決に向けて着実に前進する予算」として編成され、区長より提案されました。さらに追加議案として、妊娠期から出産・子育て期における支援の充実等に対応するための補正予算案が提案されました。

委員17名からなる予算特別委員会で、令和5年度各会計の予算案等を審査し、3月20日の本会議にて原案通り可決しました。

関連記事 2,6,7面

第1回定例会で可決した主な議案

区長提出議案33件と議員提出議案4件を可決

- がん検診の利用の促進を図るため、子宮頸がん及び乳がん検診対象者の一部の検診費用を無料とする特例措置を
令和6年3月31日まで継続する。 (令和5年4月1日施行)
- 健康保険法施行令等の改正を踏まえ、出産育児一時金の支給額を引き上げる。(1件あたり42万円⇒50万円)
(令和5年4月1日施行)
- 令和5年度新宿区一般会計補正予算(第1号)
・ 出産・育児への経済的支援として、出産・子育て応援ギフトを支給 5億6,551万4千円
・ 満1歳6か月から2歳未満の子を養育している家庭への支援として、こども商品券等を配布 2億8,721万6千円
4,185万9千円 など

関連記事 2面

今定例会で議決した意見書(要旨)

意見書の全文は、区議会ホームページをご覧ください。また、議会事務局までご連絡ください。

新型コロナウイルス感染症の後遺症の方々の日常生活を守る取組の強化を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の後遺症の罹患の中で、疲労感・倦怠感などの後遺症を訴える方が増えており、仕事や学業の継続が困難になる方も多く見られています。後遺症は生活上、非常に影響が大きく、例えば、子どもの場合は自分から症状を訴えることが難しいため、怠けていると捉えられてしまうおそれもあります。

感染拡大から3年が経過し、新型コロナウイルス感染症への向き合い方も変わる中で、後遺症に悩み生活に大きな影響を受けている方々の治療等の確立は大変に重要な課題です。

よって、新型コロナウイルス感染症の後遺症の方々に寄り添い、一人一人の日常を守るための積極的な取組を国会及び政府に求めました。

地域のカーボンニュートラルの促進を求める意見書

気候変動により、世界中で大規模な自然災害が発生するなど、気候変動への対応は今や人類共通の課題となっています。世界的に脱炭素への機運が高まる中、我が国においても2030年度の温室効果ガス46%削減、2050年のカーボンニュートラル実現という目標を掲げています。今こそ、需要サイドにおける徹底した省エネや循環経済の構築と共に、供給サイドにおける再生可能エネルギー等の普及拡大による、地域のカーボンニュートラルが必要とされます。

認知症の人も家族も安心な社会の構築を求める意見書

日本における認知症の人の数は推計値で約600万人を超え、高齢化率の上昇に伴い、今後も増加が見込まれており、将来を見据えての備えの拡充が求められています。

今日、認知症の方への介護や医療の分野においては、認知症に対する知識や経験の蓄積や、認知症を進行させる要因の解明など、大きな進展が見られます。

また、地域や家庭においては、家族をはじめ周囲の人々の正しい知識と理解のもと、認知症の人の尊厳と日常生活を守る、認知症との共生型社会への転換が求められています。

よって認知症の人も家族も安心して暮らせる地域の構築のために、また認知症の人や家族の困難を最小限に抑えるために、国会及び政府に特段の取組を求めました。

議案の概要と審議結果 (賛成…○、反対…×)

会派略称 自 民=自由民主党新宿区議会議員団 公 明=新宿区議会公明党
共 産=日本共産党新宿区議会議員団 民無ク=立憲民主党・無所属クラブ
新宿会=新宿未来の会 社 民=社民新宿区議会議員団
スタ新=スタートアップ新宿

○令和5年第1回定例会 (2月16日~3月20日)

Table with columns: 議案名, 概要, 自民, 公明, 共産, 民無ク, 新宿会, 社民, スタ新, 議決結果. Rows include budget items, ordinance amendments, and resolutions.

区政のこころを問う

令和5年度予算の編成について

自由民主党新宿区議会議員団

代表質問



渡辺 清人

質問 区は、新型コロナウイルスへの対応と社会経済活動の両立に向けた新たな移行段階へ重点的に取り組むとしている。我が会派は「新宿再起動! コロナ禍からの再生」に取り組みの姿勢を評価している。将来の区民生活を守るための持続可能な財政運営を念頭におきつつも、メリハリの効いた予算編成を期待したい。区長はどのような思いで令和5年度の予算を編成したのか。

回答 ①希望する情報ジャンル等に応じた防災・子育て及びイベント等の区政情報を発信するサービスなどに取り組んでいる。また、地域情報の発信・閲覧や災害時の安否確認等ができる電子回覧板アプリの実証実験も実施。②高齢者や障害者の見守りとして生活リズムセンサーの導入、道路のひび割れや街路灯の不具合の連絡を受ける通報システムの導入など、区民サービスの向上につながる取り組みを推進。

質問 区長の職員向けメッセージでAI・RPAなどデジタル化による業務改善や業務改革の推進の

行政のデジタル化について



行政のデジタル化を通じた区民サービスの向上

出産・子育て応援交付金事業の実施について

新宿区議会公明党

代表質問



有馬 しろ

質問 妊娠時から出産時に計10万円相当を給付する経済的支援を一

体的に実施する出産・子育て応援交付金事業が国の補正予算に計上された。出産・子育て応援交付金事業は、各自治体の創意工夫により実施されるものとして、本定例会の議案として上程され、令和5年度以降も継続される見込み。①出産・子育て応援交付金の支給申請は、わかりやすくも含め、流産・死産で子どもを亡くされた対象者の心情に配慮した、きめ細かい対応が必要。②伴走型支援は、妊娠7か月頃にアンケートを郵送し、希望者に対して妊娠8か月頃に面談を実施する新規事業が加わった。区民から「産前・産後の母体を考えると物理的な移動が困難なこともあり、今後はSNS等を活用した支援策を検討して欲しい」との要望がある。区の考えは。

回答 ①「出産・子育て応援ギフト」は、令和5年3月1日から事業開始を予定。3月1日以降に妊娠届を提出し、ゆりかご面接を受けた妊婦は「出産応援ギフト」の申請ができる。また、遡って対象となる令和4年4月1日以降に妊娠・出産した方への申請書及びアンケートの一斉送付も準備。ご指摘のとおり、流産・死産された方もおり、ご案内する際には、給付の対象とならないことを説明しつつ、わかりやすくだけでなく、表現等にも配慮する。②伴走型支援として妊娠8か月頃に希望者に実施する面談には、対面による面談を第一とするが、妊婦の状況を確認したうえで、オンライン面談等も活用し、できる限りご本人の

希望に沿う形で面談を実施。

プレミアム付商品券事業の実施について

質問 ①令和5年度は、プレミアム付商品券事業を具体的にどのように実施するか。②発行総数30万冊のうち18万冊をデジタル商品券として行うとしている。

回答 ①従来の紙商品券に加え、新たにデジタル商品券を発行し、キャッシュレス決済の推進や区民の利便性の向上、幅広い層への商品券への利用促進を図る。また、全店舗で使用可能な共通券と中小企業店舗のみで使用可能な専用券を発行し、区内中小企業に対する支援を強化し、地域経済の活性化を図る。②デジタル商品券の仕様検討にあたり、キャッシュレス決済がストレスなく行え、利用店舗を地図上で確認できるアプリとするなど利用しやすいデジタル商品券となるよう進める。

LINEを使った道路通報システムの導入について

質問 区は、道路通報システムを令和5年3月20日から開始することを公表。区が管理する道路の



道路等の不具合をLINEで通報できるシステムが開始

損傷や不具合、街路灯の異常、カーブミラーの破損など、LINEを活用して投稿できる道路通報システムの導入は、手軽に写真で通報できるので迅速な対応が可能になる。一般の方以外にも、特に町会、自治会等で地域の安全対策を担われている方などに対して、通報のご協

力をいただけるように道路通報システムを周知すべき。
回答 広報新宿や区HP、チラシの窓口配布に加え、広報番組での放映、SNSでの情報発信も活用し、広く周知。町会・自治会等へは丁寧な説明。さまざまな方法で周知に努めていく。

物価高騰対策「学校給食の無償化」を

日本共産党新宿区議会議員団

代表質問



藤原 たけき

質問 少子化対策が喫緊の課題であり、物価高騰対策としても子育て世帯への更なる支援として、①義務教育の無償で最大の焦点である学校給食を無償化すべき。葛飾区、北区、中央区など何らかの形で実施に踏み出すのが8区になる。区長は「私立小学校中学校に通う方にはメリットがない」と言われたが、私立に通う子どもにも同等の支援を。②なぜ実施を拒むのか。③教育委員会でのような議論が行われているのか。



学校給食の無償化を!

回答 ①給食費の一律無償化は困難。公立・私立にかかわらず、小・中学校入学相当年齢の児童・生徒に対し入学祝金を支給。一定所得以下の家庭に就学援助制度による給食費無償化を実施。令和4年7月から食料料費高騰の影響額分を公費負担により保護者の負担を軽減。②国が方向性を定めるべき。③無償化の考え方は区長と同じ認識。

する機会を得て、安全かつ快適に暮らすためには、誰もが安心して気軽に出かけられることが重要。①「バリアフリーの道づくり」事業の整備路線での設置にこだわらず、地域住民から要望のあるベンチや手すりの設置を大幅に増やすべき。②狭い道では、道路に面した民有地の借り上げなど工夫が必要では。③「多目的トイレ」の整備、トイレのバリアフリー化、洋式化を行う事業を前倒して進めるべき。
回答 ①「つつじ通り」などに防護柵ベンチの設置や中井の「二の坂」など急坂に手すりの設置を推進。高齢者や障害者など民間スペース等の活用も視野に入れ、整備を促進。③バリアフリートイレの更なる拡充を図るため整備箇所数を倍増する予定。

人にやさしいまちづくりを

質問 すべての区民が個人として尊重され、様々な活動に参加

困難な問題を抱える女性への支援について

質問 ①2024年度施行の「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」に基づく基本方針案で示された基本計画の策定を。②今後増える想定される相談と支援に結び付ける重要な役割を担う女性相談員を増員すべき。③女性への支援の在り方の検討などを行う民間支援団体等との会議体を作るべき。④若年被害

女性等支援事業を行っている団体に要望を聞き、支援強化を。回答 ①国や都の動向を注視して検討していく。②相談支援業務が滞りなく適切に行えるよう人員については適宜判断していく。③これまでも様々な民間支援団体と連携し、先駆的に女性支援に取り組んできた。新たな会議体の設置は考えていない。④今後も様々な団体と連携を深め要望も聞きながら女性支援に一層力を入れて取り組んでいく。

中小企業・商店支援

立憲民主党・無所属クラブ

代表質問

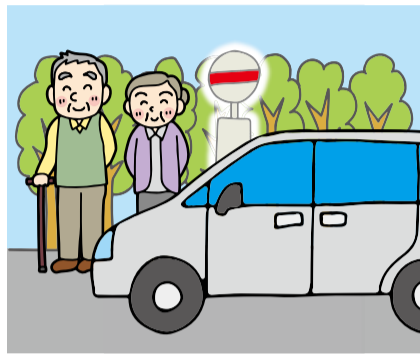


久保こうすけ

質問 これまでの支援事業は、年度で1度しか申請できず、年度末まで処理ができないという声や、設備投資には先に金銭負担が必要で活用しづらい等の声があった。令和5年度実施する中小企業活性化支援事業は区民の声をどのように生かすのか。

回答 ①区民の移動手段の更なる充実を図るため。②調査は行わない。運行エリア設定の際、区民委員が参加する会議に諮る。

質問 ①AIオンデマンド交通の



使いやすい地域の足を

アフターコロナにおける生活様式について

新宿未来の会

代表質問



のづ ケン

質問 日本人はマスクの着用にはさほど抵抗感を感じない。マス

クの着用は平時では不自然な行為であり、夏場などは呼吸困難などの悪影響を身体に及ぼしかねない。国は3月前半からはマスクの着用は屋内・屋外を問わ

一般質問

社民新宿区議会議員団



かわの 達男

いのちと暮らしを守る震災対策を

質問 今年10万人以上が犠牲となった関東大震災から100年を迎えた。東京の地震発生は切迫している。①首都直下地震への認識は。②耐震補強事業は進んできたが、まだ足りない。令和5年度の拡充内容と目標は。③

回答 ①組織一丸となり防災対策を推進。②支援対象の建築物の拡充等を実施。令和10年3月までに耐震性が不十分な住宅を概ね解消する目標。③工夫して周知しており、今後はLINE等でも周知。④令和5年度中に新たな課題や区の特性を踏まえ修正。

スタートアップ新宿



伊藤 陽平

子どもに身近な区議会を

目指し、主権者教育で連携を

質問 主権者教育について選挙管理委員会として区議会に期待すること、連携できることはあるのか。回答 児童・生徒が「将来の有



マスクの着用についてはきめ細かな対応を

児童・生徒の様子を丁寧に見守り、きめ細やかな対応を継続。

自由民主党新宿区議会議員団



おぐら 利彦

四谷地域における公衆浴場問題

質問 以前は、四谷地区には数多くの公衆浴場があったが、現在は、四谷三栄町にある一軒のみとなり、その公衆浴場も6月に廃業予定である。近隣の方に

回答 本塩町地域交流館において、信濃町シニア活動館と同様の特例的な措置として、入浴時間を通常の12時から15時までのところ、18時まで延長していく。

新宿区議会公明党



時光じゅん子

高齢者の歩行を安定させるサポートを

質問 区が無料で支給している敬老杖は1点だけで体を支えるT字杖であるが、多脚杖があればより安心であるとの声を聴

回答 希望される方に対して4点で接地する杖先ゴムに変更してお渡しできるよう検討。

日本共産党新宿区議会議員団



高月 まな

区が主体的に区民に説明を

質問 区民や大勢の子どもが訪れる新宿御苑での「放射能汚染土」再生利用実証事業について、①なぜ、区民や区議会へ事業周知、情報開示がいち早くされな

回答 ①国が責任をもって周知、説明すべきと認識。②区が主体となり周知する考えはない。区議会に対し報告する考えはない。

立憲民主党・無所属クラブ



田中 ゆきえ

AYA世代^(※1)のがん患者支援

質問 AYA世代のがん診療は、特有の問題点に配慮した精神的・社会的な面からのサポートが必要。がん患者は治療に伴う副作用により脱毛や乳房喪失等

回答 アピアランスケアは重要なことであると認識しています。着の購入費補助が必要です。アピアランスケアに要する助成等については、今後検討します。

※1【AYA世代】 思春期・若年成人(15歳から39歳まで)の世代のこと
※2【アピアランスケア】 がん治療に伴う外見の変化に対するケア

新宿未来の会



えのき 秀隆

災害に対する備えを

【質問】 ①区は防災ラジオを災害時要援護者名簿登録者に無償貸出することだが、広く多くの区民に活用されることを望む。②災害時要援護者対策として、

個別避難をサポートする側の高齢化を考慮すると、それ以外の関係団体にも広くお手伝いを頂くことも視野に入れるべき。

【答弁】 ①地域の防災会議等でご要望を伺い、より効果的な配備と活用を検討。②サービス事業者と地域の力を繋ぎ、要援護者支援の実効性を高めていく。

自由民主党新宿区議会議員団



宮坂 俊文

コロナ対応記録の情報共有を

【質問】 新型コロナに関する様々な感染防止対策や医療提供体制、ワクチン接種対応などについて、今後の新たな感染症対策に繋げていく観点から、蓄積し

てきた対応記録等を整理し、区と区民が情報共有していくことを提案したいが、区の所見は。

【答弁】 令和5年度内を目標に、「感染拡大期の対応」、「医療・教育などの分野別」、「対策経費」など、様々な視点からこれまでの対策を整理し、新宿区版対応記録として取りまとめる。

新宿区議会公明党



三沢 ひで子

女性の健康支援の充実を

【質問】 ①新宿区女性の健康支援センターでの専門相談をライフステージにあわせて、よりきめ細かな相談体制の充実を。②女性の健康専門相談の予約のオン

ライン対応を。③がん治療で外見変化に悩む人のためのピアカウンセリングの購入費補助を。

【答弁】 ①専門相談は女性の婦人科医師が対応。令和5年度から医師の不妊専門相談とピアカウンセラーの相談を開始。②ニーズは高いと認識。引き続き研究。③助成制度の導入を検討。

日本共産党新宿区議会議員団



雨宮 武彦

公設民営の銭湯の設置を

【質問】 ①出張所地域単位で銭湯がゼロになった場合、公設民営で設置すべき。四谷地域は7月から銭湯がなくなるため、直ちに検討し、設置すべき。②信濃

町シニア活動館のお風呂をコロナ前の利用に早急に戻すべき。③本塩町地域交流館のお風呂の入浴時間は、12時から15時までを18時まで延長すべき。

【答弁】 ①公設の公衆浴場を設置する考えはない。②業種別ガイドラインに基づき、人数制限など対応。③18時まで延長する。

立憲民主党・無所属クラブ



小野 裕次郎

公立校の教員不足

【質問】 更なる教員の働き方改革が必要。教員と保護者の負担を軽減する取組みとして、①欠席等の申し送りに連絡アプリの活用検討を。②給食費等徴収にキャッ

シュレスサービスの活用を。【答弁】 ①連絡アプリはより効率的に学校情報の配信及び収集ができること認識。他自治体の事例を収集し、検討を進める。②これまで集金等の事務負担の軽減を図っている。現時点で新たなサービス導入は考えていないが、他自治体の先進事例を注視。

新宿未来の会



鈴木 ひろみ

保護者の就労と学校教育の運動

【質問】 共働きの保護者から、土曜授業や行事、新入生の持ち物の準備に関する意見が多く寄せられている。保護者の負担軽減の一助のため、今まで以上に、

保護者の就労と連動した教育環境の充実を図るべき。

【答弁】 4月の保護者会などで、年間行事予定を明確に示し、各家庭へ引き続き、丁寧な説明を各校で行う。新入生の持ち物は、事前の説明会で、より適切な情報提供を行うことができるよう学校との連携を一層強化する。

自由民主党新宿区議会議員団



佐原 たけし

スポーツの力でまちづくり

【質問】 1月29日に新宿シティハーフマラソン・区民健康マラソンが3年ぶりに開催された。ハーフマラソンのコースも拡大し、沿道の応援にも恵まれ、スポー

ツの力が新宿のまちに明るさを取り戻してくれたといえる。コース拡大を含めた今後の展望は。

【答弁】 今回拡大した神楽坂・飯田橋コースの定着を図りつつ地域関係団体のご理解・ご協力を得ながら安全で魅力的なコースになるよう検討。スポーツの力で新宿のまちを元気にしていく。

新宿区議会公明党



野もとあきとし

地域BWAの活用による公衆無線LAN環境の整備について

【質問】 地域BWAとは、自治体単位に割り当てられた周波数を利用することで、高速無線通信の提供や災害時などに優先接続が可

能なサービスのこと。①区有施設整備計画は。②区民のインターネット環境の整備が重要。高齢者世帯などを始めとする各家庭に地域BWAの活用を検討を。

【答弁】 ①区内93の区有施設に公衆無線LAN環境を整備。②費用対効果や利用する区民の費用負担などを踏まえて検討。

立憲民主党・無所属クラブ



志田 雄一郎

客引き防止対策について

【質問】 ①新宿駅周辺の客引き等の状況と今後の見通しは。②今後のパトロール等の客引き防止対策は。③高田馬場、神楽坂、四谷等の繁華街の状況把握は。

【答弁】 ①執拗な客引き行為や高額な悪質店舗に案内する客引きが増える予想。②令和5年度より客引き行為等防止対策員を増員し体制を強化。③日頃から警察と情報共有。区に情報が寄せられた場合、実態把握をした上で、警察署に対応を依頼。

自由民主党新宿区議会議員団



大門 さちえ

境界知能の子どもたちについて

【質問】 境界知能は、知的障害、発達障害とは診断されず、その両方の支援から漏れてしまう。境界知能の子どもたちの多くは、見る力や聞く力といった認知機

能に弱さを抱えることが多いが、教育委員会ではどう考えるか。

【答弁】 境界知能や障害への理解を深め、他者を尊重する心を育むことが重要であると考え。特別支援教育に係る教員研修の内容を充実させ、境界知能や障害への理解促進を図るとともにきめ細かな支援を行っていく。

自由民主党新宿区議会議員団



渡辺 みちたか

健康づくりの推進を!

【質問】 コロナ禍の中で、年を取られた方が多くなったと感じる。区長の言う「コロナからの再生」では、健康についての再生も重要だ。区健康事業「し

んじゅくしんぼ」の実施状況と令和5年度の拡充の内容は。

【答弁】 「しんじゅくしんぼ」は、コロナ禍にあっても、参加者数は大幅に増加し、令和5年1月末現在、累計で938人となった。高齢者は活動量計での参加希望が多いため、令和5年度は活動量計を500台から800台に増加する。

自由民主党新宿区議会議員団



永原 たかやす

電子回覧板アプリ実証実験

【質問】 令和4年6月より榎町特別出張所地区で電子回覧板アプリの実証実験を行っている。①アプリを積極的に活用している町会での取組みは。②実証実験

を踏まえた今後の区の取組みは。

【答弁】 ①町会行事の案内や写真を用いた実績報告にアプリを活用。毎月10件程度を発信。②新たに3地区でも実証実験を実施。町会内の情報発信のほか、災害時の安否確認など緊急情報の迅速な伝達手段として活用し、地域のデジタル化推進に取り組む。

※3【ピアカウンセラー】 同じ悩みを共有する仲間

※4【境界知能】 知能指数の分布において、平均的とされる部分と知的障害とされる部分の境界に位置すること

各会派の意見

予算特別委員会概要

令和5年度一般会計及び特別会計の予算案の審査を行うため、委員17名で構成する「予算特別委員会」を設置しました。

「予算特別委員会」では、2月24日から3月9日までの10日間にわたり、予算案に対し区長の区政に対する基本方針をはじめ、行財政全般について審査しました。

3月9日には、各派の賛成・反対の討論を行い、採決の結果、4会計とも賛成多数で原案どおり可決すべきものと決定しました。

なお、この委員会決定について、4名の委員から少数意見を留保する旨の申し出がありました。

また、2名の委員から一般会計予算の修正案が提出されましたが賛成少数で否決されました。

さらに3月20日に日程を追加し、一般会計及び国民健康保険特別会計の補正予算案を審査し、賛成多数で原案どおり可決すべきものと決定しました。



▲委員の起立による予算案の採決

新型コロナへの機動的な対応と地域の社会経済活動の再起動に向け 取り組む予算として評価

自由民主党新宿区議会議員団

令和5年度一般会計予算及び3特別会計予算、並びに一般会計補正予算(第1号)及び国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について、いずれも原案のとおり賛成しました。

コロナ禍から社会経済活動の正常化が進みつつありますが、区民生活や区内事業者の経営は、厳しい状況が続いています。

5年度予算は「第二次実行計画の総仕上げとともに、区民生活の現場・現実を踏まえ、直面する区政課題の解決に向け着実に前進する予算」として、予算編成されました。

今後の区政運営にあたりましては、財政において一定の財政対応力を保持しているといえますが、今後も少子高齢化を背景とした社会保障関連経費の増加、災害リスクへの備えなど、将来に向かって必要な経費は増大していくことと、今後も、将来の区民生活を守る持続可能な行財政運営を望みます。

た。コロナ対応と社会経済活動の両立に向けて新たな段階へと移行していく中、新宿のまちの再起動に向け、地域コミュニティ活動の支援、地域経済活性化への支援、フレイル予防や健康づくりの推進、出産・子育て環境の整備、デジタル化や脱炭素化の推進などに、重点的に予算が計上されています。

我が会派が日頃申し上げてきた意見や要望を反映した予算と評価しています。

区民生活や地域経済活動への支援、高齢者や子育て家庭への支援、防災対策などを評価

新宿区議会 公明党

令和5年度一般会計予算は、予算編成の基本方針に示されているように、「第二次実行計画の総仕上げとともに、区民生活の現場・現実を踏まえ、直面する区政課題の解決に向け着実に前進する予算」と位置づけられて編成されています。

また、社会経済情勢の動向を的確に見極めながら、限られた財源を戦略的、重点的に配分を行うとともに、行政評価や直近の状況分析に基づく事務事業の見直しとデジタル技術等を活用した事業転換等を進め、効果的・効率的な事業構築を図ることとしており、評価致します。

我が会派は、新型コロナウィルス感染症対策、物価高騰による区民生活への支援、高齢者・障がい者福祉の充実、带状疱疹予防接種費用の助成、子育て支援策の推進、産前産後ケアの充実、新たな地域交通の導入など、令和5年度の予算要望も行いました。

これらの公明党の意見・要望が令和5年度予算の中に、区の基本姿勢として位置づけられ、施策の推進が図られていることを評価し、各特別会計についても、医療や介護を社会全体で支える制度の維持に努められていることから、予算に賛成しました。

今後とも、区民生活の現場・現実を重視し、限られた財源を重点的に配分し、高齢者・障がい者福祉や子育て家庭への支援、防災・減災対策などの施策に取り組まれることを強く望みます。

環境の保全と 厳しい物価高のもと くらしと営業を支える 予算に

日本共産党新宿区議会議員団

私たち区議団は2023年度一般会計予算と3特別会計、2補正予算について反対し、一般会計に対し区民のくらしを支える観点から修正案を提出しました。

私たちは予算編成に向け、団体個人との懇談、区政アンケートで寄せられた286人からの意見要望などを参考に498項目の予算要望書を区長に提出してきました。

予算原案には学童クラブの定員拡大、耐震支援事業の拡大など区民要望を実現したものもありました。一方、私たちは修正案で区立小中学校の給食費無償化、18歳までの国保料均等割の半額助成、がん検診の無料化、生活保護世帯への夏季見舞金支給の4項目で8億8千万円の増額を提案しました。

反対の世論があるなか、神宮外苑の民間主体の再開発のため今回3060本の樹木伐採・移植を区が許可しました。区が「厳正に審査」するとしていた「基準」は区議会にも審議会にも報告せず開発ができるよう区が変更し、基準に則って許可したとする姿勢は問題です。

区財政は健全で基金残高が過去最高となる一方、区民生活は異常な物価高などで苦しむ区民への施策が乏しいことも問題です。課税世帯も含め区独自の給付金実施や学校給食の無償化、国保料引き下げ等の経済的支援と同時に、困難な問題を抱える女性の支援、スクールソーシャルワーカー等の増員、情報公開と区民参加の推進など、引き続き実現のため奮闘します。

新宿区議会の 個人情報の保護に関する条例を 制定しました

令和3年5月、デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の規定により、個人情報の保護に関する法律について改正が行われ、令和5年4月1日から施行されました。

ただし、地方公共団体の議会については、国会や裁判所が法による個人情報の取扱いに係る規律の対象になっていないこととの整合性を図るため、地方公共団体の機関から除外されます。

そのため、新宿区議会では、共通ルールに沿った自律的な措置を講じる必要があるとの観点から、「新宿区議会の個人情報の保護に関する条例」の制定について検討を重ねてきました。今定例会で全議員による議員提出議案として可決制定し、引き続き議会が保有する個人情報の保護を図ることとなりました。

予算特別委員会委員 (17名)

委員長	あざみ 民栄 (共産)
副委員長	宮坂 俊文 (自民)
副委員長	井田 栄一 (公明)
理事	志田 雄一郎 (民無)
理事	川村 のりあき (共産)
理事	鈴木 ひろみ (新選)
理事	木もと ひろゆき (公明)
理事	久保 こうすけ (民無)
理事	中村 しんいち (公明)
理事	佐原 たけし (自民)
理事	池田 だいすけ (自民)
理事	のづ けん (新選)
理事	近藤 なつ子 (共産)
理事	沢田 あゆみ (共産)
理事	有馬 としろう (公明)
理事	下村 治生 (自民)
理事	かわの 達男 (社民)

新宿区議会 ホームページもご覧ください

区議会のインターネット中継(生中継・録画中継)の検索のほか、議会予定や議員名簿、請願・陳情、意見書の全文などをご覧いただくことができます。

▲新宿区議会のホームページ

▲インターネット中継(生中継・録画中継)

令和5年度予算

予算特別委員会

予算審査における主な質疑

- 5類移行後のコロナ感染症への対応について
- 健康づくりについて
- プレミアム付商品券について
- AIオンデマンド交通について
- 物価高を契機とした学校給食の無償化について
- 神宮外苑309本の樹木伐採・移植の許可について
- 住宅に困っている方の支援について
- 学校の安全対策について
- ふるさと納税について
- 児童相談所設置における課題について
- 都区財政調整協議の前進で区財源を確保し、早期に児童相談所を設置することについて



宮坂 俊文 副委員長

あざみ 民栄 委員長

井下田 栄一 副委員長

令和5年度 各会計当初予算総括表

会計別	令和5年度	令和4年度	差引額	増減率
一般会計	1,694億6,056万9千円 (1,700億2,608万3千円)	1,664億2,617万4千円 (1,671億7,257万2千円)	30億3,439万5千円 (28億5,351万1千円)	1.8% (1.7%)
国民健康保険特別会計	388億5,196万1千円 (388億6,697万8千円)	368億8,255万8千円 (366億3,194万5千円)	19億6,940万3千円 (22億3,503万3千円)	5.3% (6.1%)
介護保険特別会計	279億3,086万6千円	270億2,777万2千円	9億 309万4千円	3.3%
後期高齢者医療特別会計	83億2,427万5千円	79億5,792万円	3億6,635万5千円	4.6%
合計	2,445億6,767万1千円 (2,451億4,820万2千円)	2,382億9,442万4千円 (2,387億9,020万9千円)	62億7,324万7千円 (63億5,799万3千円)	2.6% (2.7%)

()は同時補正後の予算額

首都直下地震対策を強化し区内の緑を大切に 福祉と教育を守ります

社民新宿区議会議員団

関東大震災から100年、首都直下地震の発生は切迫しています。建築物の耐震化は進みましたが、家具の転倒防止対策など区民のいのちを守る施策が更に求められます。子どもの虐待は増加し新宿区児童相談所の早期開設は待ったなしです。都区財政調整制度の前進で区財源の確保は不可欠です。豊かな区財政と積立基金を活用し、給食費の完全無償化を即時実施することを求めます。神宮外苑の樹木の伐採は反対。平和推進こそすべての基本です。区民のくらしといのちを優先する区政の実現を今後もめざします。

物価高騰等の厳しい区民生活に寄り添い、その思いを捉えた施策の展開を

立憲民主党・無所属クラブ

コロナ禍での生活は5月から5類へと変更になるものの、未だ収束には至っていません。さらに、エネルギー価格や物価の高騰が区民生活に大きくのしかかり、今後、どのように新しい日常に向けて取り組んでいくのが区政に求められています。

扶助費の増加やエネルギー価格高騰への対応などにより、本区の歳出総額が増える中、歳入は社会経済情勢の影響を大きく受けるため、財政運営は極めて先行き不透明であります。加えてふるさと納税や法人住民税の一部国税化によ

る国の不合理な税制改正などが区財政に大きな負担となつていきます。そのような中、限られた財源を区民に寄り添い、その思いを捉え施策を展開しているのか、高齢者等、弱い立場の方に配慮ある施策が展開されているのか、また受益者負担や世代間の公平性において、バランスがとれた施策が行われているのかという視点で質疑を行いました。

具体的には、基金の有効活用について、中小企業や商店への支援について、新型コロナウイルスが5類に移行した後の対応とワクチン接種について、通学路や学校内の子どもの安全対策について、地域の足となる交通施策についてなどの質疑を行い、意見や提案もさせていただきました。

以上のことを今後の区政運営に活かしていただくよう強く要望し、すべての予算案に賛成しました。

アフターコロナと物価高に適切に対応した予算案と判断して賛成

新宿 未来の会

令和5年度の予算は前年度に引き続き最大規模のものとなりましたが、アフターコロナの時代と最近の円安、ウクライナ情勢による物価高に適切に対応した予算案と評価して、すべての予算案を原案通り賛成いたしました。

令和5年度予算は編成方針として、第二次実行計画の総仕上げとともに、区民生活の現場・現実を踏まえ、直面する区政課題の解決に向け着実に前進するとし、貴重な財源の効果的な配分の実現や、事務事業の見直し、そしてふるさと納税の返礼品導入など新たな歳

入確保に力を入れるということでも編成されていきました。そして現在の経済問題となつております物価高騰に対応して子育て世代をより応援するなど、区民生活を支える事業に関しては機動的に推進されております。以上をふまえて、我が会派は令和5年度予算について、各会計予算は適正であると考えて、すべての予算案に対して原案通り賛成いたしました。



「新宿区議会だより」を「自宅」にお届けします

「新宿区議会だより」は、新聞折り込みでお届けしているほか、主要区の施設、区内の駅・スパーなどでも配布しています。希望する方には、「広報新宿」(月3回発行)とともに自宅のポストに委託業者がお届けします。また、点字版・音声版(カセットテープ版・CD版・DAISY版)も作成しています。ご希望の方は議会事務局までご連絡ください。

※新宿区議会ホームページにもPDF版及び音声版(MP3版)を掲載しています。



▲「新宿区議会だより」PDF版及び音声版(MP3)のページ

令和5年 第2回定例会について

現在の区議会議員は令和5年4月30日で任期満了となります。令和5年第2回定例会の日程は、決定次第「新宿区議会ホームページ」等でお知らせします。



- ★手話通訳者または要約筆記者を配置できます。事前に議会事務局(TEL: 03-5273-3534、FAX: 03-3209-9995)までご連絡ください。
- ★本会議は、「新宿区議会ホームページ」でインターネット中継(生中継・録画)を実施します。ぜひご利用ください。
- ★本会議場の5階傍聴席に、ヒアリングブースシステムを設置しています。また、ヒアリングブースシステム用受信機を貸し出しています。ご希望の方は、議会事務局にお申し出ください。
- ★新宿区議会では、節電の徹底のためクールビズを実施する予定です。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

委員会の動き

令和4年度新宿区

一般会計補正予算などを可決

総務区民委員会

● 今定例会では、議案14件と陳情2件を審査し、5件の報告を受け、質疑を行いました。

● 議案審査では、法改正に伴う「新宿区個人情報情報の保護に関する法律施行条例」など3件は賛成多数で、「新宿区職員定数条例の一部を改正する条例」や「令和4年度新宿区一般会計補正予算(第11号)」など補正予算5件を含む11件は、全員賛成で可決しました。

● 陳情審査では、新たに付

出産・子育て応援ギフトの支給に関する補正予算などの議案を可決

福祉健康委員会

● 今定例会では、議案10件と陳情3件を審査し、8件の報告を受け、質疑を行いました。

● 区長提出議案は、出産・育児への経済的支援として、出産・子育て応援ギフトを支給するための補正予算や、「新宿区保健事業の利用に係る使用料等を定める条例の一部を改正する条例」など8件の審査を行いました。

● 議員提出議案は、「新宿

「新宿区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例」など5件の議案を審査

環境建設委員会

● 今定例会では、議案5件及び陳情12件を審査しました。また、13件の報告を受けました。

● 議案審査では、「新宿区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例」や「新宿区環境土木・都市計画事務手数料条例の一部を改正する条例」など5件の議案について審査し、いずれも全員賛成で可決しました。

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例改正などの議案を可決

文教子ども家庭委員会

● 今定例会では、区長提出議案7件、議員提出議案1件及び陳情3件を審査し、3件の報告を受けました。

● 区長提出議案については、「新宿区家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例」など5件の条例のほか補正予算1件、公の施設の指定管理者の指定について審査を行い、いずれも全員賛成で可決しました。

防災対策に要する経費の財源更正などを含む一般会計補正予算を可決

防災等安全対策特別委員会

● 今定例会では、「令和4年度新宿区一般会計補正

した。今回の補正予算に含まれる、防災区民組織の育成における資機材の配備や消火器の更新などの管理状況について、確認や質問がなされました。

● 報告案件については、3件の報告を受け、「新宿区空家等実態調査結果について」は、大幅に件数が減少した要因や安全指導の内容などの確認がなされ、分析

新宿区自治基本条例及び関連する諸制度の検証等について議論

自治・議会・行財政改革等特別委員会

● 今定例会では、調査事件3件、報告1件について質疑しました。

● 調査事件では、「新宿区自治基本条例及び関連する諸制度の検証について」「令和4年度内部評価及び外部評価実施結果を踏まえた区の取組について」「令和4年度都区財政再調整方針について」説明を受け、質疑を行いました。

● 4年毎に実施している自治基本条例の検証では、認

令和4年度新宿区一般会計補正予算(第12号)中歳出第4款文化観光産業費を可決

文化観光産業特別委員会

● 今定例会では、令和4年度新宿区一般会計補正予算(第12号)中歳出第4款文化観光産業費を審査しました。

● 議案審査では、夏目漱石記念施設整備基金における寄附金の積立による増額及

皆様から託された

請願・陳情の審議結果

請願・陳情の内容は、区議会ホームページをご覧ください。詳しくは、議会事務局までご連絡ください。

継続審査 7件(新たに提出されたもの)

- 国民健康保険料・介護保険料の負担軽減を求める陳情 [福祉健康委員会]
- 中高層紛争防止条例に関する陳情 [環境建設委員会]
- 新宿区のバス停に椅子の設置を求める陳情 [環境建設委員会]
- 神宮外苑再開発事業において環境影響評価書の再審査と確かな検証が可能な事業計画の報告を求める陳情 [環境建設委員会]
- 新宿御苑における放射能汚染土再生利用の「実証事業」に関する意見書の提出を求める陳情 [環境建設委員会]
- 四谷ひろばの一部を四谷小学校の校地として活用するための陳情 [文教子ども家庭委員会]
- 学校給食費無償化と奨学金返済支援制度の実施を求める陳情 [文教子ども家庭委員会]

審議未了 3件

- 日本全体で解決すべき問題として、普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全の保障を求める陳情 [総務区民委員会]
- 陳情者の建築物の毀損箇所等における建築審査会に関する陳情 [環境建設委員会]
- 東京都若年被害女性等支援事業に係る「東京都若年被害女性等支援事業に関する協定書」等に関する陳情 [文教子ども家庭委員会]

あとがき

令和5年第一回定例会の記事を中心にまとめた議会だよりをお届けします。区議会を身近に感じていただけるような紙面作りを心がけています。

本紙についてのご意見、ご要望がございましたら、議会事務局までお寄せください。

- 編集委員
- 桑原 ようへい
- 豊島 あつし
- 永原 たかやす
- 木もと ひろゆき
- 川村 のりあき
- 田中 ゆきえ
- えのき 秀隆